

令和2年度 教職員による自己点検・自己評価結果

令和3年2月1日

1 自己点検・自己評価

(1) 評価方法

令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）の学校運営状況および学校教育活動について、本年1月に全教職員が評価を行った。

(2) 評価項目

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に本校の自己評価表を作成。10領域39項目について、数値化することにした。

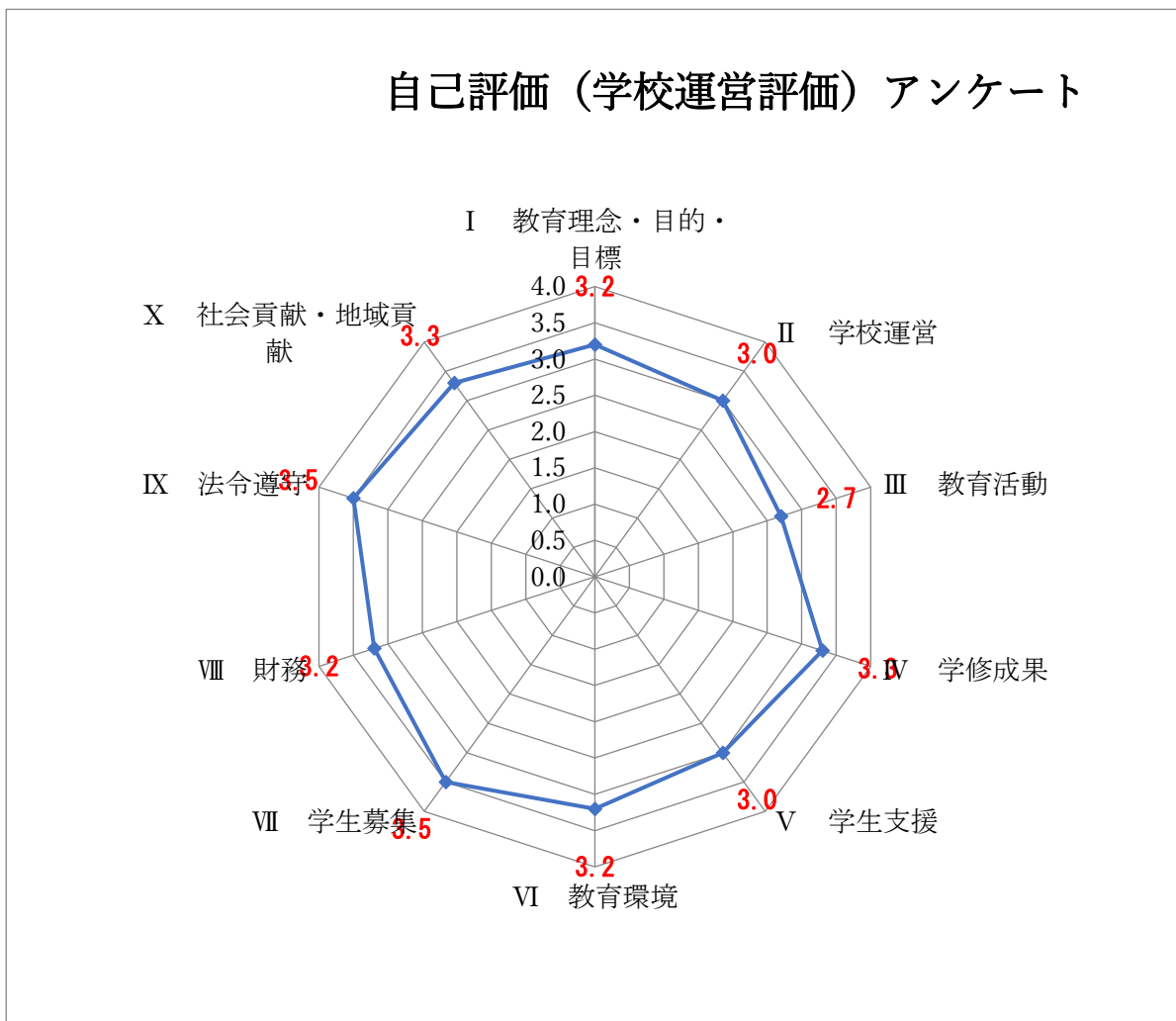
領 域	項目	評 価 項 目
I 教育理念・目的・目標	1	学校の教育理念・目的・目標・卒業生像は設定されているか。
	2	時代・社会・学習者のニーズへ適合しているか。
II 学校運営	3	年間目標に沿った事業計画が策定されているか。
	4	学校運営評価を実施し、評価結果をもとに改善計画を策定しているか。
	5	情報システム化などによる業務の効率化が図られているか。
III 教育活動	6	教育課程は、教育理念・目的・目標と一貫性があるか。
	7	3年間の教育到達レベルが明確にされているか。
	8	授業計画は教育課程との整合性があり、解りやすいか。
	9	効果的な授業運営を図るための工夫をしているか。
	10	学生が実習目標を達成できるように、実習環境は整備されているか。
	11	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。
	12	学生による授業評価を実施し、授業の改善に努めているか。
	13	教員が自己研鑽するための体制は整っているか。
IV 学修成果	14	教員が計画的に研究調査活動を行うための体制が整っているか。
	15	学生が国家試験を合格するため、取り組んでいるか。
	16	学生が希望の就職をできるように支援しているか。
	17	卒業生への支援を行っているか。
V 学生支援	18	学生の身体的側面に対する支援体制が整備されているか。
	19	学生の精神的側面に対する支援体制が整備されているか。
	20	学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか。
	21	学生の自治活動に対する支援体制が整備されているか。
	22	学生の課外活動に対する支援体制は整備されているか。
VI 教育環境	23	教育目標達成に必要な設備・教材が整っているか。
	24	学生の自主的な学習の場が確保されているか。
	25	図書室は利用しやすく、学生に活用されているか。
	26	情報システムを効果的、かつ安全に利用できるか。
	27	防災設備、防災対策は整っているか。
VII 学生募集	28	より多くの応募者を確保することにつとめているか。

	29	資格取得・就職状況などの正確な情報提供をしているか。
VIII 財務	30	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。
	31	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な執行管理を行っているか。
	32	財務について会計監査が適正に行われているか。
	33	財務情報公開の体制整備は出来ているか。
IX 法令遵守	34	法令などの遵守がされている。
	35	学校運営評価を実施し、結果を公開しているか。
X 社会貢献・地域貢献	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。
	37	学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。
	35	地域に対する公開講座、教育訓練を積極的に実施しているか。
	39	地域の資源を教育活動に取り入れているか。

2 自己評価結果

【評価基準】(2)で示した10領域39項目について、4段階で評価を行い数値化した。

【評価基準】 4:よい 3:やや良い 2:やや不十分 1:不十分



3 自己評価結果を踏まえて

前年度と比較して、8項目で自己評価が上昇した。修学支援新制度を機に学校評価を開始してから、教職員全体の学校運営に対する意識の向上がみられる。また新型コロナウイルス感染症予防対策として学生の安全にきめ細かく配慮して遠隔授業や臨地実習の調整に積極的に取り組んだことも教職員の学校運営に対する参画意識を高める結果となった。次年度も教職員が力を合わせて学生に関わるように学校運営にあたる所存である。